



Cisco MDS 9396S スイッチの設置

この章では、Cisco MDS 9396S スイッチとそのコンポーネントの設置方法について説明します。



- (注) システムの設置、操作、または保守を行う前に、「[Cisco MDS 9000 ファミリの法順守と安全性情報](#)」を参照し、安全に関する重要な情報を確認してください。



警告 安全上の重要事項

この警告マークは「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策に留意してください。各警告の最載されているステートメント番号を基に、装置に付属の安全についての警告を参照してください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。



- 警告 この装置は、立ち入りが制限された場所への設置を前提としています。立ち入り制限区域とは、特別な器具、鍵、錠、またはその他の保全手段を使用しないと入ることができないスペースを意味します。ステートメント 1017



- 警告 この機器の設置、交換、または保守は、訓練を受けた対応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030



- (注) それぞれの新しいスイッチにはライセンスが必要です。ライセンスのインストール方法については、「[Cisco MDS 9000 ファミリー NX-OS ライセンスガイド](#)」を参照してください。

- [取り付け前 \(2 ページ\)](#)

- [スイッチの設置](#) (6 ページ)
- [スイッチのアース接続](#) (9 ページ)
- [スイッチの電源投入](#) (11 ページ)
- [コンポーネントの取り外しおよび取り付け](#) (13 ページ)

取り付け前

ここでは次の内容について説明します。

インストールオプション

Cisco MDS 9396S スイッチは、次の方法で設置できます。

- 開放型 EIA ラック内で、次のものを使用します。
 - スイッチに付属のラックマウントキット
 - スイッチに付属のラックマウントキットに加えて、Telco および EIA シェルフ ブラケットキット (オプションキット、別途購入)
- 穴あき型または一枚壁型 EIA キャビネット内で、次のものを使用します。
 - スイッチに付属のラックマウントキット
 - スイッチに付属のラックマウントキットに加えて、Telco および EIA シェルフ ブラケットキット (オプションキット、別途購入)

オプションの Telco および EIA シェルフ ブラケットキットを使用してスイッチを設置する手順については、「[Cisco MDS 9000 ファミリー Telco および EIA シェルフ ブラケット](#)」のセクションを参照してください。



(注) Telco および EIA シェルフ ブラケットキットは、オプションでスイッチの付属品ではありません。キットの発注については、製品を購入した代理店にお問い合わせください。

設置に関するガイドライン

Cisco MDS 9396S スイッチを設置するときは、次の注意事項に従ってください。

- スイッチを設置する前に、設置場所の構成を計画し、設置環境を整えます。推奨される設置場所の計画タスクについては、[設置場所の準備およびメンテナンス記録](#)のセクションに記載されています。

- スイッチの作業に支障がないように、また適切なエアフローが確保されるように、スイッチ周辺に十分なスペースを確保できることを確認してください（エアフローの要件については、「[技術仕様](#)」を参照してください）。
- 空調が、[技術仕様](#)のセクションに記載されている熱放散の要件を満たしていることを確認します。
- キャビネットまたはラックが、[キャビネットおよびラックの設置](#)のセクションに記載された要件を満たしていることを確認します。



- (注) 前面キャビネットの取り付けレールが前面扉またはベゼルパネルから 7.6 cm (3 インチ) 以上、それぞれが 12.7 cm (5 インチ) 以上ずれておらず、ケーブル管理ブラケットがシャーシの前面に取り付けられている場合は、光ファイバケーブルの最小曲げ半径を確保するために、シャーシを背面に向けて取り付ける必要があります。



- (注) キャビネットでジャンパ電源コードが使用できます。詳細については、「[ジャンパ電源コード](#)」のセクションを参照してください。
- シャーシが適切にアースされていることを確認します。スイッチを設置するラックがアースされていない場合には、シャーシと電源の両方をアース接続することを推奨します。
 - 設置場所の電源が、[技術仕様](#)に記載された要件を満たしていることを確認します。使用可能な場合は、電源障害に備えて無停電電源装置 (UPS) を使用してください。



- 注意** 鉄共振テクノロジーを使用するタイプの UPS は使用しないでください。このタイプの UPS は、Cisco MDS 9000 ファミリーなどのシステムに使用すると、データトラフィックパターンの変化によって入力電流が大きく変動し、動作が不安定になることがあります。

- 回路の容量が、各国および地域の規格に準拠していることを確認します。

北米では、300 W 電源装置には 20 A の回路が必要です。北米で 200/240 VAC の電源を使用する場合、回路を 2 極回路ブレーカーで保護する必要があります。



- 注意** 入力電力の損失を防ぐには、スイッチに電力を供給する回路上の合計最大負荷が、配線とブレーカーの定格電流の範囲内となるようにしてください。

- スイッチを設置して構成するときは、「[設置場所の準備およびメンテナンス記録](#)」セクションに記載されている情報を記録してください。
- スイッチを取り付ける場合、締め付けトルクを次のように調整してください。

- 非脱落型ネジ：0.45 Nm（4 インチポンド）
- M3 ネジ：0.45 Nm（4 インチポンド）
- M4 ネジ：1.36 Nm（12 インチポンド）
- M6 ネジ：4.5 N·m（40 インチポンド）
- 10-32 ネジ：2.26 Nm（20 インチポンド）
- 12-24 ネジ：3.39 Nm（30 インチポンド）

必要な工具

設置を開始する前に、スイッチとアクセサリ キットに加えて次の工具を用意してください。

- お客様が準備した 8 本の 12-24 または 10-32 ネジ（スライダ レールと取り付けブラケットを取り付けレールに取り付けるために必要）
- トルク調整可能な #1 および #2 プラス ネジ用ドライバ
- 3/16 インチ マイナス ドライバ
- メジャーおよび水準器
- 静電気防止用リストストラップなどの静電気防止用器具
- 静電気防止面

また、シャーシをアースするために、次のものがが必要です（アクセサリキットには含まれていません）。

- アース線（6 AWG を推奨します）。地域および各国の規定に適合するサイズを使用してください。アース線の長さは、スイッチから適切なアース場所までの距離に応じて異なります。
- ラグ端子の寸法に適した圧着工具
- ワイヤストリッパ

スイッチの開梱および確認



注意 スイッチのコンポーネントを取り扱うときは、静電気防止用ストラップを着用し、モジュールのフレームの端だけを持ってください。ESD ソケットはシャーシ上に付いています。ESD ソケットを有効にするには、電源コードまたはシャーシのアースを使用してシャーシをアース接続するか、またはアースされたラックとシャーシの金属部分を接触させてください。



ヒント シャーシを輸送する場合に備えて、輸送用の箱は保管しておいてください。



(注) シスコのサポートをシスコのリセラーからご購入された場合は、リセラーに直接お問い合わせください。サポートをシスコから直接ご購入された場合は、次の URL にある Technical Assistance Center (TAC) にご連絡ください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>



(注) スイッチは、厳密に検査した上で出荷されています。輸送中の破損や内容品の不足がある場合には、ただちにカスタマー担当者に連絡してください。

梱包内容を確認する手順は、次のとおりです。

1. カスタマーサービス担当者から提供された機器リストと、梱包品の内容を照合します。次の品目を含め、すべての品目が揃っていることを確認してください。
 - アース ラグ キット
 - ラックマウント キット
 - 静電気防止用リストストラップ
 - ケーブルとコネクタ
 - 発注したオプションの品目
2. 破損の有無を調べ、内容品の間違いや破損がある場合には、カスタマーサービス担当者に連絡してください。次の情報を用意しておきます。
 - 発送元の請求書番号（梱包明細を参照してください）
 - 破損している装置のモデルとシリアル番号
 - 破損状態の説明
 - 破損による設置への影響
3. すべての電源モジュールとファントレイが、予想されるエアフローの方向になっているかどうかを確認します。ポート側吸気エアフローモジュールは赤紫色、ポート側排気エアフローモジュールは青色です。エアフローの方向は、すべてのモジュールで同じ方向である必要があります。

スイッチの設置

この項では、ラックマウントキットを使用して、「[キャビネットおよびラックの要件](#)」のセクションに記載されている要件を満たすキャビネットまたはラックに Cisco MDS 9396S スイッチを取り付ける手順について説明します。

ラックへの下部支持レールの取り付け

取り付けしているスイッチ シャーシには、調整可能な 2 本の下部支持レールが付属しており、シャーシを支えるために 4 支柱ラックに接続できます。これらの下部支持レールにはそれぞれ 2 つの部品があります。一方は他方にスライドするので、間隔が 36 インチ (91 cm) 未満の前面および背面の取り付けポストにラックを合わせることができます。各下部支持レールでは、もう一方のレールにスライドするレールの半分にシャーシの止め具があり、それはシャーシのモジュール端部に合致します。シャーシのポート側に空気吸入口がある場合は、シャーシ止め具付きの下部支持レール部品をラックのホットアイル側に配置する必要があります。

始める前に

- 4 支柱ラックまたはキャビネットが設置されていることを確認します。
- 他のデバイスがラックまたはキャビネットに格納されている場合は、より重いデバイスが軽いデバイスの下に設置され、スイッチを設置するために少なくとも 2 RU の空きがあることを確認します。
- 下部支持レールキットがスイッチのアクセサリキットに含まれていることを確認します。
- ラックに下部支持レールを取り付けるためのネジが 8 個あることを確認します (通常 M6 X 10 mm のネジ、またはラックの垂直取り付けレールに適したネジ)。

ステップ 1 シャーシに取り付けられたファントレイと電源モジュールを確認して、下部支持レールをラックに配置する方法を決めます。

- モジュールに赤紫色のカラーリング (ポート側吸気エアフロー) がある場合は、シャーシ止め具がホットアイルに配置されるように下部支持レールを配置する必要があります。
- モジュールに青色のカラーリング (ポート側排気エアフロー) がある場合は、シャーシ止め具がコールドアイルに配置されるように下部支持レールを配置する必要があります。

ステップ 2 1 本の下部支持レールを構成している 2 つのスライダを分離し、シャーシ止め具がラックのホットアイルに位置するように半分を配置します。シャーシを容易に設置できるように、下部支持レールの上に少なくとも 2 RU の空きがあることを確認します。

ステップ 3 別途用意したネジ (通常 M6 X 10 mm のネジ) を 2 本使用して、下部支持レールの半分をラック支柱の垂直取り付けレールに取り付けます。各ネジは、そのネジに適したトルクまで締め付けます (M6 X 10 mm ネジの場合は、4.5 N·m (40 インチ-ポンド) のトルクを使用します)。

- ステップ 4** 下部支持レールのもう半分を、取り付けられているレールにスライドして合わせ、別途用意したネジ（通常 M6 X 10 mm のネジ）を 2 本使用して、ラックの垂直取り付けレールに固定します。各ネジは、そのネジに適したトルクまで締め付けます（M6 X 10 mm ネジの場合は、4.5 N・m（40 インチ-ポンド）のトルクを使用します）。
- ステップ 5** ステップ 2 および 3 を繰り返して、もう一方の下部支持レールをラックの反対側に取り付けます。
- ステップ 6** 設置した 2 本の下部支持レールをチェックして、両方のレールが水平で互いに同じ高さであることを確認します。高さが異なる場合は、高いほうのレールを低いほうの高さに合わせます。

次のタスク

シャーシに 2 つのフロントマウント ブラケットを取り付けることができます。

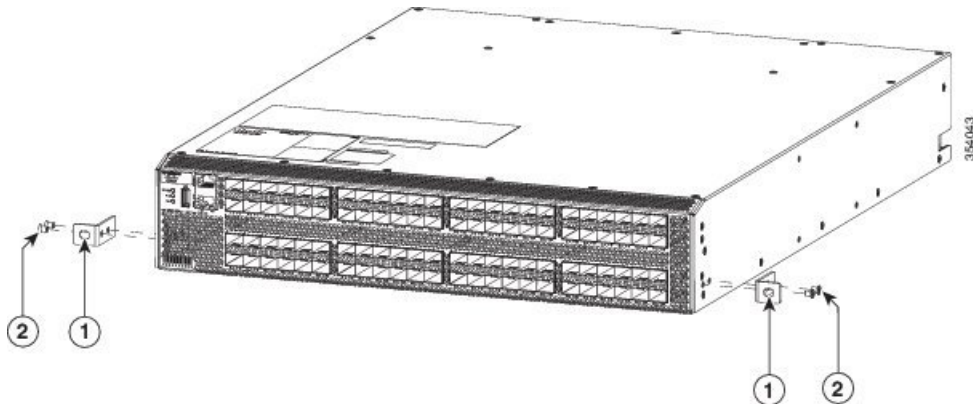
シャーシへのフロントマウント ブラケットの取り付け

始める前に

- 直角ブラケットをシャーシの各側面に取り付ける必要があります。このブラケットは、4 支柱ラック上でシャーシを適切な位置で支えます。
- プラス トルク ドライバが必要です。

- ステップ 1** 2 つのフロントマウント ブラケットのうちの 1 つの、一方の面にある 2 つの穴をシャーシの左側または右側の 2 つの穴に合わせます（次の図を参照）。ブラケットのもう一つの面がシャーシの前面（ポート側）に向くようにします。

図 1: フロントマウント ブラケットをシャーシ側に合わせて取り付ける



1	2 個のネジ穴がシャーシの 2 個のネジ穴に合っていて、1 つのネジ穴がシャーシの前面（ポート側）を向いているフロントマウント ブラケット。	2	ブラケットをシャーシに固定するための 2 本の M4 x 6 mm のネジ。
---	--	---	--

ステップ2 2本の M4 X 6 mm のネジを使用してブラケットをシャーシに取り付けます。各ネジを 1.2 ~ 1.7 N·m (11 ~ 15 インチポンド) で締めます。

ステップ3 ステップ1および2を繰り返し、2つ目の前面マウントブラケットをシャーシの反対側に取り付けます。

次のタスク

4 支柱ラックにシャーシを取り付けることができます。

スイッチの設置

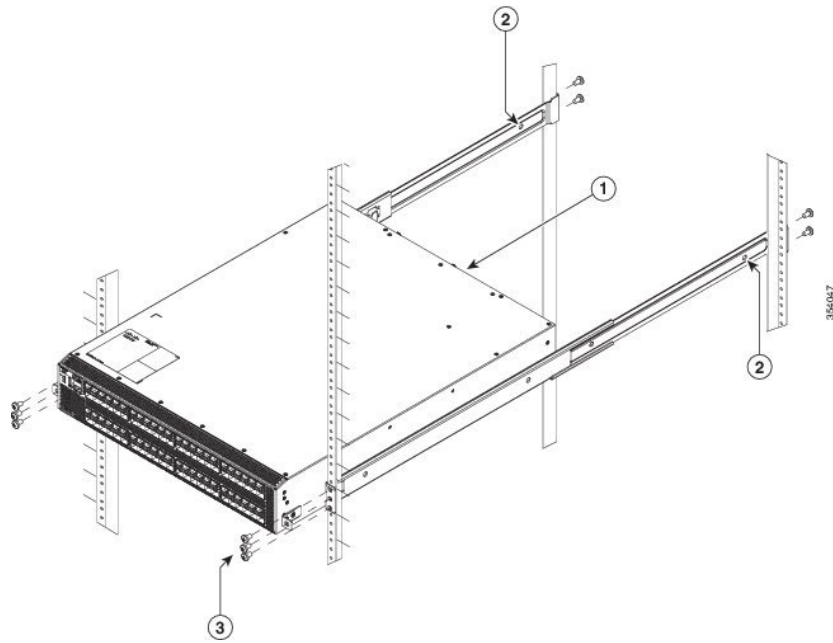
始める前に

- ファントレイと電源の端がレールの端にあるシャーシ止め具にロックされ、シャーシのフロントマウントブラケットがラックのフロントマウントレールに接触するように、シャーシを下部支持レールにスライドさせる必要があります。
- 4 支柱ラックが適切に設置され、コンクリート床に固定されていることを確認します。
- 電源モジュールおよびファントレイが適切なアイルに配置されるように、下部支持レールが設置されていることを確認します。
- ファントレイのストライプの色と電源モジュールのラッチの色によって、次のようにスイッチのどちらの端をコールドアイルに配置する必要があるかが決まります。
 - モジュールのカラーリングが赤紫色の場合は、シャーシのポート側をコールドアイルに配置します。
 - モジュールのカラーリングが青色の場合は、ファントレイとシャーシの電源モジュール側をコールドアイルに配置します。
- 2つのフロントマウントブラケットが、ポート端でシャーシの側面にしっかり固定されていることを確認します。
- 別途用意したラックマウントネジが2つあることを確認します (M6 X 10 mm のネジまたはラックの垂直取り付けレールに適切なネジ)。

ステップ1 シャーシの電源モジュール側の端とファントレイの端を、ラックに設置されている下部支持レールにスライドさせます。ファントレイと電源モジュールの端のシャーシの側面が下部サポートレール上のシャーシストップにクリップされ、フロントマウントブラケットがラックに接触していることを確認します (次の図を参照)。

下部支持レールが長く延長されている場合、シャーシの設置時にレールが少し外側に曲げられていて、レールの遠端のシャーシ止め具がシャーシの端に収まらない可能性があります。この場合は、サイドレールをシャーシの側面に向けて押し、シャーシ止め具がシャーシ内に入りシャーシをラックの適切な位置で支えられるようにします。

図 2: 下部支持レールへのシャーシのスライド



1	シャーシがレールの端のシャーシ止め具でロックされるように、シャーシのファントレイの端を下部支持レールにスライドします。	3	シャーシの各面をラックに固定するための別途用意したラックマウントネジ (M6 X 10mm のネジまたはその他の適切な他のネジ)。
2	シャーシを支えるシャーシ止め具 (ホットアイルのそばに設置されます)		

ステップ 2 別途用意したラックマウントネジ (M6 X 10 mm のネジまたはラックに適切な他のネジ) を使用して、シャーシの 2 個の取り付けブラケットをラックに取り付け、それぞれのネジをそのネジに適したトルクまで締め付けます (M6 X 10 mm ネジの場合は、4.5 N·m (40 インチポンド) のトルクを使用します)。

スイッチのアース接続

次の方法で、シャーシと電源モジュールをアースに接続するとスイッチは接地されます。

- データセンターのアースまたは完全に接合して接地したラックのどちらかにシャーシを接続します (アースパッド位置)。



(注) シャーシのアース接続は、AC 電源ケーブルがシステムに接続されていなくても有効です。

- AC 電源に電源を接続すると AC 電源が自動的にアースに接続されます。

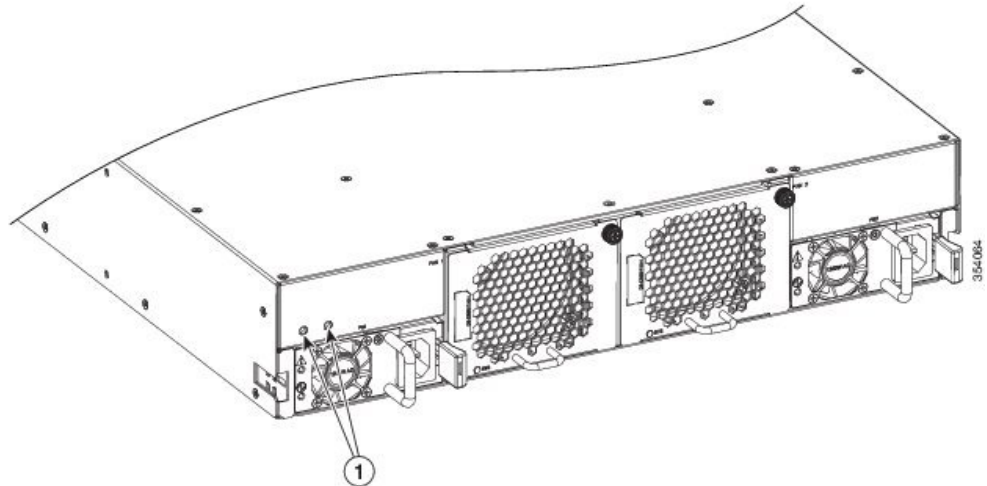
始める前に

- シャーシをアースする前に、データセンター ビルディングのアースに接続できるようになっている必要があります。データセンターのアースに接続している接合ラック（詳細についてはラック メーカーのマニュアルを参照）にスイッチ シャーシを設置した場合は、アースパッドをラックに接続してシャーシをアースできます。接合ラックを使用していない場合は、シャーシのアースパッドをデータセンターのアースに直接接続する必要があります。
- データセンターのアースにスイッチ シャーシを接続するには、次の工具と部品が必要です。
 - アース ラグ：最大 6 AWG 線をサポートする、2 穴の標準的バレル ラグ。このラグはアクセサリ キットに付属しています。
 - アース用ネジ：M4 x 8 mm のなべネジ X 2。これらのネジはアクセサリ キットに付属しています。
 - アース線：アクセサリキットに付属していません。アース線のサイズは、地域および国内の設置要件を満たす必要があります。米国で設置する場合は、電源とシステムに応じて、6 ~ 12 AWG の銅の導体が必要です。一般に入手可能な 6 AWG 線の使用を推奨します。アース線の長さは、スイッチとアース設備の間の距離によって決まります。
 - No.1 プラス トルク ドライバ。
 - アース線をアース ラグに取り付ける圧着工具。
 - アース線の絶縁体をはがすワイヤ ストリップ。

ステップ 1 ワイヤ ストリップを使用して、アース線の端から 19 mm (0.75 インチ) ほど、被膜をはがします。

ステップ 2 アース線の被膜を取り除いた端をアース ラグの開放端に挿入し、圧着工具を使用してラグをアース線に圧着します。アース線をアース ラグから引っ張り、アース線がアース ラグにしっかりと接続されていることを確認します。

図 3: Cisco MDS 9396S スイッチの接地



1	アース ポスト
---	---------

- ステップ 3** 2本の M4 ネジを使用してアース線のラグをアースパッドに取り付け、1.3 ~ 1.7 Nm (11.5 ~ 15 インチポンド) のトルクでネジを締めます。
- ステップ 4** アース線の反対側の端を処理し、設置場所の適切なアースに接続して、スイッチに十分なアースが確保されるようにします。ラックが完全に接合されてアースされている場合は、ラックのベンダーが提供するマニュアルで説明されているようにアース線を接続します。

スイッチの電源投入

スイッチに電源投入するには、AC 電源に 1 つまたは 2 つの電源モジュールを接続する必要があります。使用する電源モジュールと電源の数は、次の条件によって異なります。

- 混合電源を使用している（電源の冗長性を使用しない）場合は、AC 電源 1 個に電源モジュール 1 つを接続します。
- 電源モジュール (n+1) の冗長性を使用している場合は、AC 電源 1 個に電源モジュールを 2 つを接続します。
- グリッド (n+n) の冗長性を使用している場合は、2 個の電源モジュールと 2 個の AC 電源を使用する必要があります。電源モジュールをそれぞれ別の電源に接続します。

始める前に

スイッチに電源投入する前に、以下をそろえる必要があります。

- ラックに取り付けられ、アースに接続されているスイッチ
- ご使用の国または地域に推奨される電源ケーブル
- 使用する電源ケーブルの範囲内にある必要なアンペア数の AC 電源

ステップ 1 次のように、電源モジュールを AC 電源モジュールに接続します。

1. ご使用の国または地域に推奨される電源ケーブルを使用して（「[対応する電源コードとプラグ](#)」セクションを参照）、電源ケーブルの C19 プラグを電源モジュールの電源コンセントに接続します。
2. 電源ケーブルのもう一方の端を AC 電源に接続します。
3. LED が緑に点灯していることを確認します。LED が消灯している場合は、AC 電源の回路ブレーカーがオンになっているかを確認します。

ステップ 2 電源モジュール (n+1) の冗長性を使用している場合は、次のように 2 番目の電源モジュールを接続する必要があります。

1. ご使用の国または地域に推奨される電源ケーブルを使用して（「[対応する電源コードとプラグ](#)」セクションを参照）、電源ケーブルの C19 プラグを 2 番目の電源モジュールの電源コンセントに接続します。
2. 電源ケーブルのもう一方の端をもう一方の電源モジュールで使用されている AC 電源に接続します。
3. LED が緑に点灯していることを確認します。LED が消灯している場合は、AC 電源の回路ブレーカーがオンになっているかを確認します。

ステップ 3 グリッド (n+n) の冗長性を使用している場合は、次のように 2 番目の電源モジュールを接続する必要があります。

1. ご使用の国または地域に推奨される電源ケーブルを使用して（「[対応する電源コードとプラグ](#)」セクションを参照）、電源ケーブルの C19 プラグを 2 番目の電源モジュールの電源コンセントに接続します。
 2. 電源ケーブルのもう一方の端を 2 つ目の AC 電源に接続します（これは最初の電源モジュールで使用されているものとは異なる電源モジュールです）。
 3. LED が緑に点灯していることを確認します。LED が消灯している場合は、AC 電源の回路ブレーカーがオンになっているかを確認します。
-

コンポーネントの取り外しおよび取り付け

Cisco MDS 9396S スイッチには、2つの現場交換可能な電源装置が付属しています。各電源には固定ファンが含まれています。Cisco MDS 9396S スイッチには、現場交換可能なファンモジュールが2つあります。



警告 システムの稼働中は、バックプレーンに高電圧が流れています。保守を行う場合は注意してください。ステートメント 1034



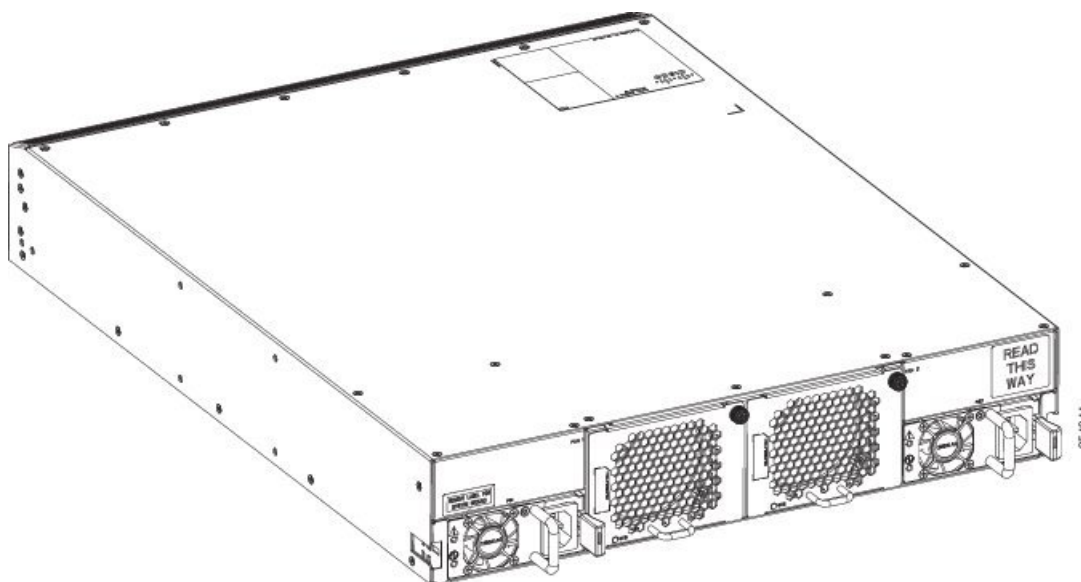
注意 作業中は、スイッチの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。



(注) Cisco MDS 9396S スイッチは、両方の電源モジュールと両方のファンモジュールが取り付けられ、すべてのファンが動作している状態での連続動作のみがサポートされます。

2台の電源装置が取り付けられている場合、1台の電源装置に障害が発生しても、システムは正常な1台の電源装置で正常に機能し続けることができます。ただし、冗長性を確保するために、障害が発生した電源装置はできるだけ早く交換する必要があります。ファンモジュールは、スイッチを適切に冷却するために必要です。

図 4: Cisco MDS 9396S スイッチの背面図



AC 電源装置の取り外しと取り付け

このセクションでは、Cisco MDS 9396S スイッチの AC 電源装置の取り外しと取り付けの手順について説明します。

電源装置の取り外し

AC 電源モジュールの取り外し手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1 取り外す電源モジュールの電源スイッチをオフ (0) に切り替えます。
 - ステップ 2 電源コードを電源から外します。
 - ステップ 3 非脱落型ネジを緩めます。
 - ステップ 4 電源のハンドルをつかみ、スイッチから電源をスライドさせます。
-

電源装置の取り付け

AC 電源モジュールを取り付ける手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1 システム アースが接続されていることを確認します。
 - ステップ 2 電源モジュールを取り付ける前に、電源コードが外されていることを確認してください。
 - ステップ 3 取り付ける電源モジュールの電源スイッチがオフ (0) の位置にあることを確認します。
 - ステップ 4 滑らせるようにして電源装置を電源装置ベイに入れます。電源装置がベイに完全に装着されていることを確認します
 - ステップ 5 電源モジュールの非脱落型ネジを締めます。
 - ステップ 6 電源モジュールに電源コードを差し込みます。
 - ステップ 7 電源コードのもう一方の端を AC 入力電源に接続します。

(注) 配電ユニットのコンセントの種類によっては、Cisco MDS 9396S スイッチをコンセントに接続するために、オプションのジャンパ電源コードが必要となる場合もあります。「[ジャンパ電源コード](#)」のセクションを参照してください。

- ステップ 8 電源モジュールの電源スイッチをオン (I) の位置にします。
 - ステップ 9 前面パネルの電源モジュール (P/S) の LED がグリーンになっているかどうかを調べ、電源モジュールの動作を確認します。LED がグリーンではない場合、『[Cisco MDS 9000 ファミリー トラブルシューティングガイド](#)』を参照してください。
-

ファンモジュールの取り外しおよび取り付け

このセクションでは、Cisco MDS 9396S スイッチのファンモジュールの取り外しと取り付けの手順について説明します。

ファンモジュールの取り外し

ファンモジュールは、システムの動作中に取り外しや交換を行っても、電気事故が発生したりシステムが損傷したりすることがないように設計されています。



注意 Cisco MDS 9000 ファミリには、シャーシ内の別の地点で温度が特定の安全しきい値を超えた場合に、システムをシャットダウンできる内部温度センサーが搭載されています。システム温度を正確に監視するため、温度センサーは、十分なエアフローがシャーシを通過することを必要とします。ファンモジュールがシャーシから取り外され、エアフローが減少した場合、システムは温度センサー情報を無視します。そして検出されないまま過熱することを防ぐために、5分後にシャットダウンします。ただし、高レベルの温度しきい値を超えると、スイッチはすぐにシャットダウンします。



(注) ファンモジュールを取り外すときに、回転しているファンの羽根に手を近づけないでください。ファンブレードが完全に停止してからファンモジュールを取り外してください。ステートメント 258

既存のファンモジュールを取り外す手順は、次のとおりです。

- ステップ1 スイッチの背面にあるファンモジュールの位置を確認します。
- ステップ2 ファンモジュールの非脱落型ネジを緩めます。
- ステップ3 固定タブをファンモジュールの中央に向けてスライドさせます。
- ステップ4 ファンモジュールのハンドルを持ち、外に引き出します。
- ステップ5 ファンブレードの回転が停止したら、ファンモジュールをファンベイから完全に取り外します。

ファンモジュールの取り付け

新しいファンモジュールを取り付けるには、次の手順に従います。

- ステップ1 ファンモジュールベイにファンモジュールを挿入し、手応えがあるまでスライドさせます。
- ステップ2 ファンモジュールの非脱落型ネジを締めます。

ファンモジュールの確認

新しいファンモジュールが適切に取り付けられていることを確認するには、以下の手順に従います。

-
- ステップ 1** ファンの音を聞きます。すぐに作動音が聞こえるはずですが、動作音が聞こえない場合には、ファンモジュールがスイッチ内に完全に挿入され、前面プレートがスイッチの背面パネルと一直線になっているかどうかを確認してください。
- ステップ 2** ファンモジュールの LED がグリーンに点灯していることを確認します。LED がオレンジ色の場合、このファンモジュールの 1 つのファンが故障しています。LED が赤色の場合、このファンモジュールの両方のファンに障害が発生しています。
- ステップ 3** 数回試行してもファンが動作しない場合や、設置に問題が発生した場合は、カスタマーサービス担当者にお問い合わせください。

(注) 製品をシスコのリセラーから購入された場合、テクニカルサポートについては、直接リセラーにお問い合わせください。この製品をシスコから直接購入された場合は、次の URL でシスコテクニカルサポートまでご連絡ください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。